

縄南中通信



平成29年 8月29日 発行
2017年度 第5号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校
校長 日比野功

縄手南(小中一貫)施設分離型義務教育学校(平成31年度開校予定)教育理念

「縄南道」による二十歳の成人式に

当たり前の行動を当たり前に行うことができる人の育成

間違いなく今が勝負の時！心の隙を見せるな！手を抜くな！

1年間には「勝負の時」がいくつかあります。時間がたって後から振り返ってみると、「あの時が勝負の分かれ目だった」と気づきます。学校生活の中でも「勝負の別れ目」となるポイントはいくつもあります。普段から伝えていますが、「やろうと思っていたができなかった」のは、「やる気がなく何もしなかった」と結果は類似します。思ったかどうかということより、実行できたかどうかということが重要です。やる気もなかったとか、思ってもいなかったのは論外です。学校での授業がない夏休みという長い時間が過ぎた「今」、9年生は部活引退という過程を経験した「今」、7年生、8年生は今度は自分たちが主役となる過程の「今」というように、2学期のスタートである「今」は間違いなく勝負のポイントです。今は、心新たに全力疾走すべき時です。気持ちのギアを最大限に高め行動すべき時です。夏休み明けという今は、少ししんどいことはわかっています。最初からわかっているのに、「しんどいから」「気分が乗らないから」は、できない理由にはなりません。言い訳は進歩の最大の敵です。勝負で何より踏んばらねばならないことは、敵と闘って勝負することではなく、自分自身と勝負することです。自分との勝負は本当に気力が入ります。そのタイミングの1つが「今」です。不思議なもので(本当は不思議でも何でもありません。必然です。)、手を抜こうとすれば、手を抜きたい仲間が集まります。歯を食いしばって頑張れば、そうした仲間が集まってきて新しい繋がりが生まれます。勝負の分かれ目となる節目は、最初は意識にもとまらないくらい少しの方向性の違いから始まりますが、この少しの方向性の違いが時間とともに大きな方向性の違いとなります。しまったと気づいてから修正するのは結構大変です。2学期が始まった「今」、そしてこの9月、手を抜くことなくさらに「勝因」である「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」を実行し、「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」に磨きをかけて下さい。周りの仲間への気配りや自分が支えていただいている環境への感謝の気持ちを大切に磨いてください。「いい加減」「てきとう」「だいたい」は「敗因」です。「しんどいから手を抜く」「わかっているけどやれなかった」は間違いなく「敗因」であり、自分の将来を変えてしまう行動です。自分の気持ちや意識、また行動が、「勝因」なのか「敗因」なのかと常に考え、夏休み明けの「今」は、自分を高める勝負の時であると意識して行動して下さい。縄手南の全員で構成する「縄南道」部は日本一を目指してします。心で再確認して下さい。

また、こうした「意識」を高くしていると、そこには「勝因」を生む「空気」が創造されます。レベルの高い「空気」を持つ集団や場所に、一歩足を踏み入ると、何かここは違うといった「空気」を感じます。それは環境が整備されていたり、その場に所属する人のふるまいであったり、ユ

ニフォームの着こなしであったり様々ですが、間違いなくレベルの高い「凛」とした「空気」が創りだされています。つまり「いい加減」や「てきとう」や「だいたい」を許さない「空気」です。この「空気」を創り出すためには、意識を高くして多くの時間をかけた努力が必要ですが、少なくとも道具が片付いていなかったり、服装や身だしなみがいい加減であったり、あいさつができなかったり、きびきびした行動がとれていない集団にはこの「空気」はありません。「環境は人を育てる。人は環境を創り出す。」と言われるように、縄手南にもこの「空気」創り出し、磨きあげていきたいと考えています。2学期がスタートしますので、しっかりと「意識」して「行動」して下さい。そしてレベルの高い「空気」を創りあげましょう。

中学生スタッフががんばりました！また、お世話になりました。～第30回校区ふれあい盆踊り～

8月5日（土）、縄手南小学校グラウンドで校区校外指導協議会主催の第30回縄手南校区ふれあい盆踊りが盛大に開催されました。毎年、この校区ふれあい盆踊りには中学生がスタッフとして地域諸団体の皆様のお世話のもと参加しています。スタッフとしてお手伝いをさせていただくことを通して、お手伝いさせていただいたからこそ気づける何かを感じとれたことと思っています。校区校外指導協議会やPTAの皆様は、この日のために多くの時間を使って、会議や打ち合わせを何回もされ、加えて買い出しや借り物の段取りまで細かくされています。当日が近づくと夜も何回も集まり、当日の朝は7時から櫓の準備等が始まり、夜は10時過ぎまでグラウンドの撤収作業、そしてその後、ふれあい盆踊りのために家から出てきた地域の小中学生が、遅くまで家に帰らず近くの公園やコンビニ等で時間をつぶしていないかと気づかい、深夜のパトロールに出かけておられます。これらはすべて、校区校外指導協議会、PTAをはじめとした地域諸団体の皆様が、少しでも楽しいふれあい盆踊りにしようという思いからです。この思いを続けられ今年で30年となりました。縄手南中学生はこうした方々の思いや、盆踊りを成功させるために地域の大人の方々がどんなことをされているのかということ、スタッフというお手伝いを通して感じたことでしょうか。「自分の勝手」「適当にやる」といったことがどれだけつまらなく情けないことかと知り、「みんなのため」「一生懸命やる」といったことがどれだけ気持ちの良いことかを、スタッフとしての活動を通じて学ばせていただきました。有難うございました。縄手南中学生には、近い将来、自分もこうした方々のように地域で役に立つ大人に成長して欲しいと願っています。また、お手伝いさせていただきました中学生スタッフも、まだまだ中学生ですので十分ではなかったことが多々ありますが、校区校外指導協議会、PTAをはじめとした地域諸団体の皆様には、今後もこどもを成長させるという観点でのご指導をよろしくお願い致します。



ふれあい盆おどりの各ブースで活躍する中学生スタッフ（右）

クラブ等の主な記録

剣道 中河内地区中学校剣道秋季大会 女子団体之部 優勝

(西山結(9年) 川上京香(9年) 齊藤夢心(9年) 池野梨子(8年) 高居穂ノ佳(8年))

サッカー 第51回東大阪市中学校総合体育大会 優勝

水泳 小林叶和(8年)400m 自由形

第71回大阪中学校水泳競技大会兼全国・近畿大会予選 8位 4'17"46 (近畿大会へ)

第66回近畿中学校水泳競技大会 9位 4'19"47 第51回中河内地区水泳競技大会 1位 4'24"3

第45回中河内地区中学生学年別水泳競技大会兼府学年別予選 1位 4'20"52

大阪ジュニア選手権大会 3位 4'16"21

野球 優秀選手(東大阪市中学校体育連盟準硬式野球選抜チーム選出) 加藤優馬(9年)